

# KORG

# Pa

# 3

# 00

# 00

professional arranger

## オペレーターティング・システム・バージョン2.0

01

# KORG Pa 300 – オペレーティング・システム・バージョン 2.0

## バージョン 2.0 の新機能

オペレーティング・システム・バージョン 2.0 では以下の機能が追加になります。

Sound Edit モード、Media モード	ページ
他の Pa シリーズのユーザー・サンプルに基づいたユーザー・サウンドをロードする機能を追加 最大 32MB をロード可能 (圧縮ファイルは発音しない)	3
<b>Sound Edit モード</b>	
ROM、LOC に加えて RAM のマルチサンプル選択を追加	3
サンプル・メモリー内の情報を取得、未使用のユーザー・サンプルを削除できる機能を追加	3
<b>Global モード</b>	
Audio & EQ セクションに音量を調整するファイナル・リミッターを追加	5
<b>ミュージカル・リソース</b>	
グローバルにリミッター・プリセットを追加	6

購入時期によっては Pa300 が、すでに新しいオペレーティング・システムになっている場合があります。

Media モードの Utility ページに移動し、ディスプレイの下側に表示されているバージョン・ナンバーを確認してください。

新しいオペレーティング・システムのロードについては、下記のコルグ・ウェブサイトにあるインストール・フォルダーに含まれている説明書をお読みください。

[www.korg.com](http://www.korg.com)

オペレーティング・システムをアップデートしたら、Media > Utility > Factory Restore コマンドで新しいグローバル設定をロードしてください。他のリソースを上書きしないように、Restore ダイアログで Global のみチェックしてください。

## 前の OS バージョンで追加された機能

### バージョン 1.6

以下の機能はオペレーティング・システム・バージョン 1.6 で追加されたものです。

Global モード	ページ
Chord Recognition のオプションに「Fingered (3 Notes)」を追加およびオプション「Fingered」の名称変更	4
Velocity curve オプションの変更	5
MIDI プリセット「Tablet」の追加	5
<b>ソングブック</b>	
外部ソフトウェアによるソングブックの編集	6
<b>ミュージカル・リソース</b>	
グローバル・ファイルの更新	6

### バージョン 1.5

以下の機能はオペレーティング・システム・バージョン 1.5 で追加されたものです。

Style/Pad Record モード	ページ
Style/Pad Record モードの追加	3
<b>Sound モード</b>	
Sound Edit モードの追加	3
<b>Global モード</b>	
Global モード、MIDI 出力の Control Channel	4
<b>ショートカット</b>	
SHIFT キー・ショートカット	6

## Style/Pad Recordモード

### Style/Pad Record モードの追加 [1.5]

スタイルやパッドのフル・エディットが可能になる Style/Pad Record モードが追加になります。このモードにアクセスするには、Style Play モードに移動して RECORD キーを押します。

Style/Pad Record モードの詳細については、下記のコルグ・ウェブサイトからダウンロードできるオペレーティング・システム・バージョン 1.5 に対応した Pa300 ユーザー・マニュアルをご覧ください。  
[www.korg.com](http://www.korg.com)

## Soundモード

### Sound Edit モードの追加 [1.5]

サウンドのフル・エディットが可能になる Sound モードが追加になります。Sound モードにアクセスするには、コントロール・パネルの SELECTION セクションにある SOUND キーを押すか、ディスプレイのサウンド名をタッチしてサウンド選択画面を表示し、ページ・メニューから Edit Sound コマンドを選択します。

Soundモードの詳細については、下記のコルグ・ウェブサイトからダウンロードできるオペレーティング・システム・バージョン 1.5 に対応した Pa300 ユーザー・マニュアルをご覧ください。  
[www.korg.com](http://www.korg.com)

### ユーザー・サンプルに基づいたユーザー・サウンドのロード [2.0]

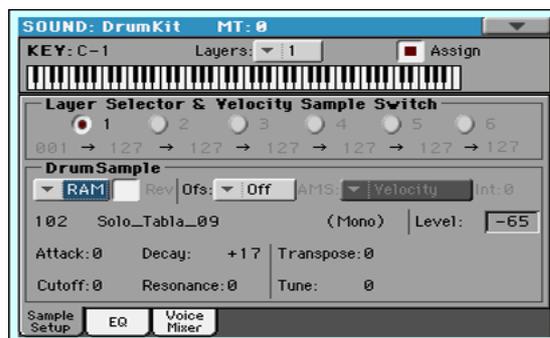
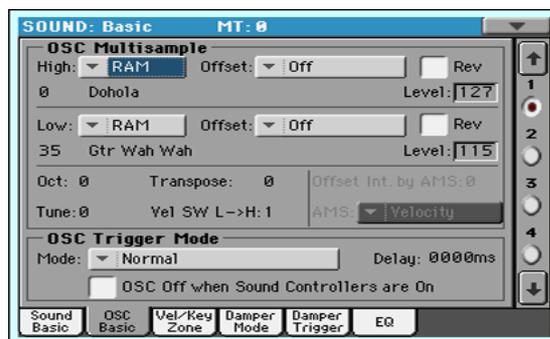
本機に内蔵された 32MB のユーザー・サンプル・メモリーに、Pa シリーズ形式のユーザー・サンプルに基づいたサウンドと、ドラム・キットをロードすることができます。圧縮したサンプルをロードしても使うことはできません。ロード後にユーザー・サウンドを確認してください。

SET. フォルダーに含まれるすべてのサンプルをロードすることができます。ただし、フォルダーに含まれるサンプルがメモリーの容量を超える場合は、サンプルを個別にロードしてください。

本機の電源を入れたときにロードしたサンプルを読み込むため、起動時間が少し長くなります。

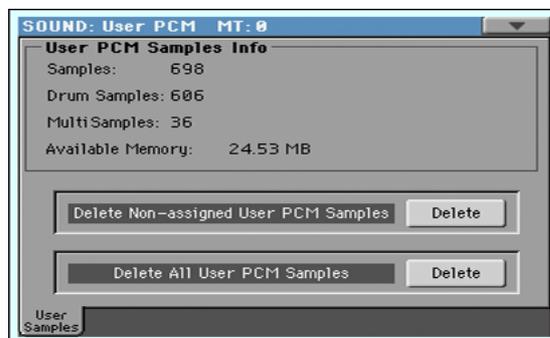
### サウンド・エディットでのユーザー・マルチサンプルの選択 [2.0]

ユーザー・マルチサンプルは Sound Edit > Basic > OSC Basic ページ、または Sound Edit > Drum Kit > Sample Setup ページで、ROM や LOC バンクと同じように、RAM バンクから選択できます。



### 情報の取得とユーザー・サンプルの削除 [2.0]

ユーザー・サンプル・メモリー上の情報を取得します。Sound Edit モードで MENU ボタンを押して、User PCM セクションを選択します。これで、ユーザーのサンプル・ページが開きます。



このページでは、メモリーにロードされたサンプルの容量を確認できます。新しいサンプルをロードするときに、使用できる残りの容量を確認したり、使用していないサンプルを削除することができます。

メモリー内のオブジェクト	意味
Samples	メモリー内のユーザー・サンプル数
Drum Samples	メモリー内のユーザー・ドラム・サンプル数
Multisamples	メモリー内のユーザー・マルチサンプル数
Available Memory	Pa300 には 32MB の RAM が内蔵されていて、ここに非圧縮のユーザー・サンプルをロードすることができる。この値 (バイト) はユーザー・サンプルのメモリー残量になる。

## ユーザー・サンプルの削除

Sound Edit モードの User Samples ページで新たなユーザー・サンプルをロードするためにメモリー内の一部、またはすべてのユーザー・サンプルを削除することができます。

削除するサンプルのコピーを取っていない場合は、削除を実行する前に将来に再使用できるように外部機器などにバックアップをとることをお勧めします。

- ユーザー・サウンドに使用されていないユーザー・サンプルを削除する場合は、Delete Non-assigned User PCM Samples の横の Delete ボタンをタッチします。

サウンドやドラム・キットに使われていないすべてのユーザー・サンプル、ドラム・サンプル、およびマルチサンプルを削除します。

ただし、それらを使用したサウンドやドラム・キットの削除をしただけでは、未使用になったサンプルはメモリー内に残ることになります。そのため、新たなユーザー・サウンドやドラム・キットに使用することができます。

- すべてのユーザー・サンプルを削除する場合は、Delete All User PCM Samples の横の Delete ボタンをタッチします。

メモリーに含まれるすべてのユーザー・サンプルを削除します。ユーザー・サウンドやドラム・キットに、これらのサンプルを使用しているときは、この操作は使わないでください。この操作はユーザー・サンプルのメモリーを、完全に空にするときに使用します。

## Globalモード

### Chord RecognitionのオプションにFingered (3 Notes) を追加、およびオプション[Fingered]の名称変更 [1.6]

Chord Recognition パラメーターのオプションに“Fingered (3 Notes)”を追加しました。また、従来のオプション“Fingered”の名称を“Fingered (1 Note)”に変更しました。

Global > Mode Preference > Style > Chord Recognition パラメーターの説明が変更になります。

### Chord Recognition

このパラメーターでアレンジャー(自動伴奏エンジン)がどのようにコードを認識するかを選択します。

SPLITキーの状態によって、コード認識モードは自動的に次の表のようにセットされます:

Chord Recognition モード	
SPLIT LED On	SPLIT LED Off
One Finger	Fingered (3 Notes)
Fingered (1 Note)	Fingered (3 Notes)
Fingered (3 Notes)	Fingered (3 Notes)
Expert	Expert

One Finger 次の演奏方法によってコードを指定できます:

- 単音を演奏するとメジャー・コードになります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵を演奏するとセブンス・コードになります。例えば、C3 と B2 を同時に弾くと C7 になります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の黒鍵を演奏するとマイナー・コードになります。例えば C3 と B<sup>b</sup>2 を同時に弾くと C マイナーになります。
- ルート音を鍵盤で指定し、その左隣の白鍵と黒鍵を演奏するとマイナーセブンス・コードになります。例えば C3、B2、B<sup>b</sup>2 を同時に弾くと Cm7 になります。

### Fingered (1 Note)

スプリット・モードの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。単音を弾いた場合はメジャー・コードになります。

フル・キーボード・モードの場合、最低3音を同時に押さえるとコードとして認識されます。

### Fingered (3 Notes)

コードを認識させるためには、3音またはそれ以上のノートを弾く必要があります。

### Expert

スプリット・モードの場合、単音または複数のノートでコードを指定できます。フル・キーボード・モードの場合は、最低3音を押さえるとコードとして認識されます。

単音を弾くとユニゾンとして演奏されます。また、5度のノートを弾くと“ルート+5度”のコードになります。

このモードでは、ジャズやフュージョン、ポップスなどでよく使われるルートを弾かないコードや分数コードを演奏することができます。このタイプのコードはジャズ・ピアノ特有のコードを演奏する際に非常に便利です。このときは、必ずしもルート音やすでにベース・トラックで演奏しているノートを弾く必要はありません。

### MIDI 出力の Control Channel [1.5]

Global > MIDI > MIDI Out Channels ページ、“Channels”のオプションに Control Channel が追加になります。Ch01 ~ Ch16 のいずれかのチャンネルで Control Channel を指定すると、ソングブック・エン트리選択時に Control Channel を指定した MIDI チャンネルで MIDI メッセージを送信します。

ソングブック・エン트리選択時、以下のメッセージが送信されます。

- 初期化文字列: NRPN コントロール・チェンジ・メッセージ CC#99 (MSB、値 2) と CC#98 (LSB、値 64)。
- 選択文字列: 千および百の位向けの CC#06 (データ・エントリー MSB) と、十および一の位向けの CC#38 (データ・エントリー LSB) の 2 つのコントロール・チェンジ・メッセージ。データ・エントリー・コントロールの範囲は、標準的な 0 ~ 127 ではなく 0 ~ 99 です。

これらのデータは、外部エディターで受信して使用することができます。

外部からのソングブック・エントリーの選択については、ユーザー・マニュアルをご覧ください。

## Velocity curve オプションの変更 [1.6]

Global > Controllers > Hand Controllers ページ、Keyboard Settingsの“Velocity Curve”のオプション「Fix」を削除し、「Fixed」が追加になります。

### Velocity Curve

**Fixed** タッチの強弱に反応せず、音色や音量は常に一定です。**Fixed** を選択したときは、ベロシティの値を設定できます。



## MIDI プリセット「Tablet」の追加 [1.6]

Global > MIDI > General Controls ページ、MIDI Preset “Preset” のオプションに「Tablet」が追加になります。この MIDI プリセットは、ソングブックとタブレット端末上のソフトウェアとの同期を可能します。また将来的に、MIDI #16 チャンネルを使用したコントロール機能を実装する予定にしています。

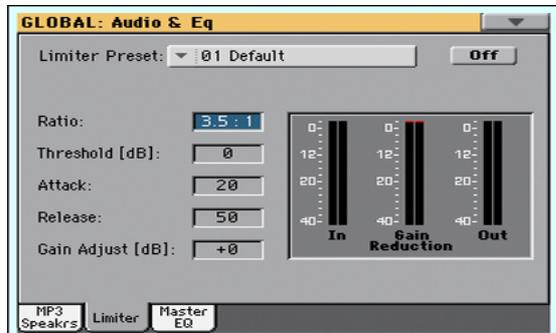
## リミッター [2.0]

リミッターは定義されたしきい値を超える信号を圧縮することでサウンド(演奏、スタイル、MIDIソング)の音量を調整することを可能にします。

MP3 ファイルはリミッターによる影響はありません。MP3 はすでに生成されたファイルなので再度リミッターを通す必要はありません。

### Limitter ページを開く

Global モードの Audio & EQ セクションから Limiter ページを開きます。



### リミッター・プリセットを選ぶ

Limiter Preset ポップアップ・メニューを使って、自動的にパラメーターが設定されたリミッター・プリセットを選択します。

### リミッターのオン、オフ

On/Off ボタンをタッチして、リミッターのオン、オフを切り替えます。

### リミッターのプログラミング

リミッターのパラメーターをエディットしてオリジナルの設定を作ることができます。

リミッター・パラメーター	意味	値
Ratio	信号圧縮比の設定。信号レベルがしきい値を超えた場合のみ圧縮が適用。1.0:1 は圧縮無し。	Inf:1 ... 1.0:1
Threshold	圧縮が適用されるしきい値のレベルを設定。0dB は信号がない状態。	-40 ... 0

リミッター・パラメーター	意味	値
Attack	アタック・タイムの設定。アタック・タイムはしきい値を超えた後、圧縮が始まるまでの時間で、値が大きいとゆっくりと圧縮がかかり、小さくするとすぐに圧縮がかかる。	1 ... 100
Release	リリース・タイムの設定。リリース・タイムはしきい値を下回ってから、圧縮が終わるまでの時間で、値が大きいとゆっくりと圧縮が終わり、小さくするとすぐに圧縮が終わる。	1 ... 100
Gain Adjust	出力ゲインの設定。圧縮により音量が小さくなった場合などに使用。	-Inf ... +24

### リミッター動作の確認

リミッターの入出力信号レベルをバググラフ・メーターで確認することができます。

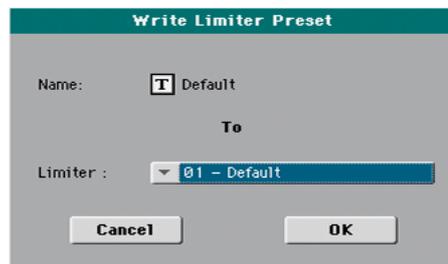
- 入力レベルが高すぎる場合は、サウンド、スタイルや再生するソングのレベルを下げます。
- 出力レベルが高すぎる場合は、Gain Adjust の値を小さくします。

**Gain Reduction** インジケーターを見るとリミッターの動作具合が簡単に確認できます。これにより、サウンドの質を落とすような極端な効果を監視することができます。

### リミッター・プリセットの保存

Write Limiter Preset ダイアログを開きます。

1. Limiter ページでページ・メニューから Write Limiter Preset コマンドを選択すると Write Limiter Preset ダイアログが開きます。



2. 現在のプリセットに上書きする場合はそのまま OK ボタンをタッチします。
3. 現在のプリセットとは異なるロケーションに保存する場合は Limiter のポップアップ・メニューを使って選択します。
4. プリセットの名前を変更するときは、**T**(テキスト・エディット)ボタンをタッチしてからバーチャル・キーボードを表示して名前を変更します。
5. 名前のエディットが終わったら、バーチャル・キーボードの下の OK ボタンをタッチします。
6. Write Limiter Preset ダイアログの OK ボタンをタッチして保存操作を完了します。

## ソングブック

### ソングブックとソフトウェアの同期 [1.6]

PCやタブレット端末上のソフトウェアでソングブックの編集が可能になります。

「KORG SongBook Editor」を使用すると、Windows PC 上で 1 つのエントリーや、ソングブックのデータベース、カスタム・リストを編集することができます。

また、BauM Software 社の「SongBook+ for iPad」や Zubernsoft 社の「MobileSheets for Android」を使用すると、タブレット端末とソングブック・エントリーとを同期させたり、歌詞や楽譜をタブレット端末に表示させることができます。

その他にも開発中のソフトウェアがあります。それらのリリースに関する情報をコルグ・ウェブサイトに掲載する予定にしておりますので、定期的にご確認ください。

## ショートカット

以下のショートカットが追加になります。

### SHIFT キー・ショートカット [1.5]

SHIFT キーを押しながら、コントロール・パネルのキーやダイヤル、ディスプレイを操作することによって、直接エディット・ページやダイアログ・ボックスに移動することができます。

SHIFT +	機能
Style/Pad Record モード	
Tempo + / - キー	Sound/Expression ページ表示時：スタイル・トラックのエクスペッション・レベルを調整

## ミュージカル・リソース

オペレーティング・システムをロード後、Media > Utility > Factory Restore コマンドで新しいグローバル設定をロードしてください。他のリソースを上書きしないように、Restore ダイアログで Global のみチェックしてください。

**Warning: Factory Restore** コマンドを実行する前に必要な古いデータは外部メモリーなどに保存してください。コマンドを実行すると、本機のメモリー上のデータ(ユーザー・データも含む)はすべて消去され、元に戻すことができません。ミュージカル・リソースの保存は Media モードの Save で行います。

### MIDI プリセットの追加 [1.6]

MIDI プリセットに「Tablet」が追加になります。

### リミッター・プリセットの追加 [2.0]

リミッター・プリセットに「新しいリミッター機能」が追加になります。

# 付録

## 改善点とバグの修正

### OS 1.6 の改善点

場所	改善点
Boot	起動時間を短縮
SongBook	ソングブック・エントリーを選んだときに自動的に STS1 が選択されるようになった

# **KORG**

Address

KORG ITALY SpA  
Via Cagiata, 85  
I-60027 Osimo (An)  
Italy

Web

[www.korg.com](http://www.korg.com)